

■ 成果指標

成果指標名		単位	現状値	実績値 (R3)	目標値
1	市内バス路線等の利用者総数	人	310,478	204,768	317,000 以上
2	コミュニティバス路線等の利用者総数	人	95,115	68,619	102,000 以上
3	コミュニティバス路線の1便あたりの平均乗車人員数	人/便・ 日	4.5	2.7	現状以上
4	市内の鉄道駅の乗車人員数(1日平均)	人	3,405	2,613 (R2)	3,400 以上
5	移動環境に対する不満割合	%	17	16	15以下

■ 計画の実績等

取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・亀山市地域公共交通計画に基づき、既存バス路線については、運行事業を継続し、移動困難者の日常生活における移動性の確保に努めることができた。 ・コミュニティバスについては、地域公共交通計画に基づき、運賃体系の見直しやICカード利用機器設置を行い、利便性向上に務めた。 ・乗合タクシーについては、地域停留所や特定目的地停留所の追加化を行い、利便性の向上を図るとともに、引き続き3,000円分の無料体験乗車券を配布し、利用者の増加に努めた。 ・コロナ禍により乗り方教室やバス活用を含めたイベントの開催は実施できなかったものの、広域路線関係市町との共同PR等により、利用促進啓発および情報発信に努めた。
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・バスについては、コロナ禍の影響による外出自粛や不特定多数の乗車回避などにより、目標を大きく下回り、利用者増加につながらなかった。 ・乗合タクシーについては、コロナ禍の影響により、自由な移動や単独乗車が可能であることから、令和2年度の利用者総数3,741人から令和3年度利用者数は4,688人と約1.2倍増加するなど、制度の定着を図ることができた。 ・市内鉄道駅の総乗車人員数は、コロナ禍の影響もあり、2,613人と目標値を下回り、利用者増加につながらなかった。
総合計画 推進への 寄与度	<p>1. 快適さを支える生活基盤の向上 (5) 公共交通網の充実</p> <p>既存のバス等による効率的・効果的な運行継続の実施や乗合タクシーの利便性の向上など、市内の地域公共交通網を充実させることで、市民がそれらを利用して安全で快適な生活を送ることに寄与している。</p>

反省点・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通計画に基づいて計画的に取組を進める一方で、バス利用者や鉄道利用者が減少傾向にあり、令和3年度においても、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数は大幅に減少した。引き続き利便性の向上やウィズコロナへの対応などの取組を行うとともに、様々な媒体を活用した利用促進のための情報発信が必要である。 ・バス利用者数や鉄道利用者数が減少傾向にあるため、計画の数値目標達成に向けてDXを活用した新たな技術の活用も含めた利便性の向上を検討するとともに、継続した利用促進啓発活動を展開する必要がある。
--------	---

今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・バスについては、地域まちづくり協議会や近隣自治体との情報共有や連携により利用促進に向けた取組を継続して行う。 ・新たな技術を活用した取組の調査・研究や、ニーズとサービス、コストを考慮した鉄道・バス・乗合タクシーの最適な組み合わせによる効率的・効果的な運行に向けて検討を行う。 ・鉄道については、JR加太駅舎や亀山駅前再開発といった施設、鉄道遺産群や閑宿など、鉄道と観光をマッチングさせ、一層の利用促進を展開する。また、沿線自治体との連携を図りながら、利用促進活動を展開するとともに利便性向上のための要望活動を実施する。
--------	--